

2021年10月

ESG 重視経営を推進する森永乳業 「プラチナくるみん」認定のお知らせ

森永乳業株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 大貫陽一)は、このたび厚生労働省から、高い水準で子育て支援に取り組む企業として「プラチナくるみん」の認定を受けましたので、お知らせいたします。

「プラチナくるみん」とは、次世代育成支援対策推進法に基づき「子育てサポート企業」として「くるみん認定」を受けた企業のうち、より高い水準で取り組みを行っている企業が受けることができる認定です。



森永乳業グループは、コーポレートスローガン「かがやく“笑顔”のために」のもと、森永乳業グループ 10 年ビジョンにて「サステナブルな社会の実現に貢献し続ける企業へ」を打ち出しています。また、2019 年度より開始した 3 年間の中期経営計画で、経営理念実現に向けた“ESG を重視した経営”を掲げております。2021 年 6 月には、サステナビリティ本部を設立し、継続的な発展に繋げるサステナビリティ経営の推進をより一層進めていく体制といたしました。

現在は、2018 年を“ダイバーシティ元年”として「ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を発信し、多様な働き方を志向できる制度の構築や風土醸成を進めています。

その中で、育児中の従業員の活躍を支援するべく、2021 年よりフレックスタイム制と短時間勤務制度を併用できる育児支援制度、就業時に利用した育児サービスの費用を一部補助する制度、ライフイベントやキャリア形成等の女性従業員向けセミナーなどを実施し、働きやすい環境を充実させることに力を入れています。当社男性従業員の育休取得率は約 44%で、国内平均の 12.65%を大きく上回っています。

今後とも当社グループは、ダイバーシティ&インクルージョンを推進し、ESG を重視した経営を実践してまいります。

1. 森永乳業のダイバーシティ&インクルージョン推進への主な取り組み

① ダイバーシティ&インクルージョン理解促進

- 2016年～ :ダイバーシティフォーラム開催(毎年度1回開催)
- 2018年 :ダイバーシティ&インクルージョン全事業所説明会実施
- 2018年～ :イクボス大賞の実施(毎年1回開催)
- 2019年～ :マネジメント職へのダイバーシティ&インクルージョン教育

② 育児中の従業員の活躍支援

- 2015年 :配偶者出産休暇の新設
- 2017年～ :子育てサポートセミナーの実施
- 2019年 :パパママ活躍促進手当を新設(※1)
- 2021年～ :看護、介護休暇が時間単位で取得可能に

※1 就業または通勤のため、特定の育児サービス(休日保育・病児保育等)を利用した場合、利用料の一部を手当として会社が補助する制度

③ ワークスタイル変革

- 2017年 :在宅・サテライト勤務制度導入
- 2019年 :フレックスタイム制の対象事業所拡大
- 2021年 :短時間勤務制度とフレックスタイム制の併用可能に

2. これまでの取り組みの成果

<男性の育休取得率>

国内 2020年度、国内男性取得率 12.65%(※2)

当社 2020年度、当社男性従業員取得率 44.1%

※2 厚生労働省「令和2年度雇用均等基本調査」

<社内制度活用の推移>

年休取得率	2015年度:60.9%	⇒	2020年度: 70.2%
配偶者出産休暇取得率	2015年度:55.8%		2020年度: 84.7%
男性育児休業取得率	2015年度:5.8%		2020年度: 44.1%
在宅・サテライト勤務制度活用従業員数	2017年8月(制度開始時点):67名		2021年8月: 2,044名

3. お問い合わせ先

森永乳業株式会社 広報 IR 部 佐藤・見上 TEL 03-3798-0126 ✉pr@morinagamilk.co.jp
 人財部 鈴木

森永乳業のサステナビリティへの取り組みのあゆみ : <https://www.morinagamilk.co.jp/csr/history/>

以上